

取組事例

(朝型の働き方) (所定外労働削減) (年休取得促進) (多様な正社員) (テレワーク)

企業名： 三菱日立パワーシステムズ株式会社	所在地： 神奈川県横浜市
社員数：12,264名	業種：製造業



取組の目的：

- ・「社員の生産性向上」と「企業価値の向上」を同時に実現する
- ・多様な人材が活躍できる職場環境をめざす

取組の概要：

<現在の取組>

○トップメッセージの発信

従来より様々な取組を行ってきたが、平成29年10月に取組を整理・補強し本社地区で先行実施するに当たり、働き方改革に係る社長メッセージを発信。

○時間外労働の削減

- ・従来のスーパー一定時退場日（毎週水曜日）に加え、毎週金曜日も追加。
- ・朝型勤務（終業後残業から始業前残業へのシフト）を推奨し、早朝勤務者に対し軽食の提供を開始。
- ・20時～翌朝5時までの時間帯及び休日の社用メール発信を原則禁止。
- ・半年に1度、残業・休暇取得実績を経営会議で報告するとともに、毎月の実績データを管理者に提供し、管理者の残業削減、休暇取得促進に向けた意識を醸成。

○年次有給休暇の取得や柔軟な働き方

- ・年次有給休暇取得目標を年17日と設定し、実績を発表。
- ・部門によりフレックスタイム制や裁量労働制を適用している。
- ・在宅勤務制度があり、育児・介護等の特定事由に該当する社員は自宅での勤務が可能。

<今後の取組>

- ・本社地区先行実施の結果を踏まえ、効果が見込める取組を全社展開する予定。

現状とこれまでの取組の効果：

- 現在、本社地区のスーパー一定時退場日には社員の9割以上が定時退社。
- 年次有給休暇の取得状況は、年22日付与で15日強取得。